

# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (28) 土地利用とまちづくり

ここまで良くなってきました

都市・農村・森林が共生できる「新たな土地利用の仕組み」の構築に向けて、奈良県の今後の土地利用のあり方とその方向性について、「奈良県土地利用に関する懇談会」において、令和2年度より議論を開始しました。



奈良県土地利用に関する懇談会の様子

「奈良県の新たな土地利用の仕組みの基本的な考え方」を作成

- 魅力ある県土と暮らしを守り次世代へと引き継ぐ
- 経済の発展と暮らしの向上に資する、持続可能な土地利用の推進
- ボトムアップ型の土地利用のための仕組みの構築

もっと良くするために

土地に関する施策等の実効性を担保するために、令和4年度に奈良県の土地利用に関する条例制定、計画策定を行い、諸課題に対応します。

条例の制定

- 県民共通の規範である「基本理念」や、土地利用・管理に係る「関係者の責務」を明確化

計画の策定

- 適切な土地利用・管理を推進するために諸課題毎に対応方針を明確化

諸課題

対応

無秩序な開発の抑制



奈良の風土の保全



農地・森林等の適正管理



地域課題に資するプロジェクトの推進



令和4年度予算案 20百万円

R4予算案 19,553千円

## 1. 新たな土地利用の仕組みの構築 (12,560千円)

「『奈良県の新たな土地利用の仕組み』の基本的な考え方」(R3作成)に基づき、持続可能な土地利用に資する条例の制定や新たな計画を策定

- ①有識者を招いた懇談会を開催し、条例や計画の具体的な内容の検討、市町村との意見交換を実施
- ②地域における土地利用に係るビジョンの策定やプロジェクトの実施に活用するため、土地利用・管理状況を調査

土地利用の仕組みの基本的な考え方

(仮称)総合土地利用計画の策定

土地利用にかかる条例の制定

「奈良県土地利用に関する懇談会」委員 (五十音順)

- |       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 栢原 英郎 | 草苑保育専門学校校長 (元国土庁計画官)                 |
| 北村 喜宣 | 上智大学法科大学院教授                          |
| 黒田 慶子 | 日本森林学会会長                             |
| 高木 勇樹 | NPO法人日本プロ農業総合支援機構理事長<br>(元農林水産省事務次官) |
| 竹歳 誠  | 三菱地所(株)顧問 (元内閣官房副長官)                 |
| 田中 淳夫 | 森林ジャーナリスト                            |
| 福井 照  | 元衆議院議員 (自由民主党)                       |
| 藤田 達生 | 三重大学大学院教授                            |
| 水谷 知生 | 奈良県立大学教授                             |
| 荻原 敬  | (株)荻原計画事務所主宰 (元国土交通省)                |
| 森地 茂  | 政策研究大学院大学教授                          |

## 2. 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針改定・区域区分見直し (6,993千円)

令和4年5月に都市計画決定予定の「大和都市計画及び吉野三町都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」に基づき、市街化区域と市街化調整区域との区分の見直し等に着手

- ③市街化区域と市街化調整区域との区分の見直しに向け、市町村と共に区域区分案を作成し、国等との協議を実施

【事業スケジュール】

|      |  |
|------|--|
| R4年度 | ○「都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」改定               |
| R5年度 | ○区域区分見直し(都市計画決定)<br>○吉野三町まちづくりビジョン策定支援 |

- ④吉野三町(吉野町、大淀町、下市町)まちづくり検討会を開催し、吉野三町のまちづくりビジョンの策定を支援

# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (29) 奈良県のすまい方改善

## ここまで良くなりました

奈良県のすまいに係る課題は、①住民の高齢化、②住宅地での空き家・空き地の増加、③住宅の老朽化です。新型コロナウイルスに起因する離職・収入減などの環境変化も踏まえ、奈良県住生活基本計画・奈良県住生活ビジョン等に基づき、奈良県のすまい方改善を実施してきました。

○近鉄大福駅周辺地区において、桜井市との協定を踏まえ、県営住宅の建替事業と地域のまちづくりを進めており、R2年度には第1期事業(県営住宅89戸)が完了

○高齢者世帯やひとり親世帯などの住宅の確保に配慮を要する方が、賃貸住宅等に円滑に入居し、安心して住まうことができるよう居住支援の取組を推進



桜井県営住宅第1期完成



○新型コロナウイルスに起因する離職者等に県営住宅を提供等  
○R4年2月に奈良県住生活基本計画を改定

## もっと良くなるために

近鉄大福駅周辺地区において、桜井市とのまちづくり包括協定を踏まえ、**第2期事業区域の整備と市と協働して県営住宅用地を活用したまちづくりを推進**します。

奈良県住生活基本計画に基づき、県独自の計画である「**奈良県住生活ビジョン**」を改定し、奈良県のすまい方改善に資する施策を推進します。

○近鉄大福駅周辺地区拠点整備(213百万円)  
【債務負担行為 105百万円】

・第2期事業区域の概要  
県営住宅(46戸)の建設、地域に開かれた集会所の整備



【配置イメージ】

・R4年度の事業内容  
第2期事業区域の除却工事、文化財発掘調査

○奈良県のすまい方改善検討(5百万円)

・住民の高齢化等による住宅の空き家化の予防や老朽化対策、マンションの適正な管理などの地域別課題の検討等を踏まえ、奈良県住生活ビジョンの改定、奈良県マンション管理適正化計画の策定等

○居住支援法人の指定やセーフティネット住宅の登録など、居住支援の取組を引き続き推進



【セーフティネット住宅の登録制度】  
**令和4年度予算案 218百万円**  
【債務負担行為 105百万円】

R4予算案 217,637千円 [債務負担行為 105,247千円]

## 1. 近鉄大福駅周辺地区拠点整備 (212,737千円、R5債務負担行為 105,247千円)

○まちづくり包括協定を踏まえ、**市と協働して桜井県営住宅用地を活用したまちづくりを推進**

R4事業内容  
第2期事業区域の除却工事  
第2期事業区域の文化財発掘調査



【配置イメージ】



桜井県営住宅 第1期

## 【事業スケジュール】

|                        | R2        | R3   | R4               | R5   | R6   |
|------------------------|-----------|------|------------------|------|------|
| 近鉄大福駅周辺地区拠点整備(第2期 46戸) | 建築基本・実施設計 | 除却工事 |                  |      | 建築工事 |
|                        | 造成実施設計    |      | 文化財発掘調査          | 造成工事 |      |
| 奈良県のすまい方改善検討事業         | 地域別課題の検討等 |      | 奈良県住生活ビジョンの改定検討等 |      |      |

## 2. 奈良県のすまい方改善検討 (4,900千円)

○高齢者居住安定確保計画やマンション管理適正化計画などの**関連計画を統合した『奈良県住生活ビジョン』を令和4年度に改定**  
⇒奈良県住生活基本計画の施策のうち、**重点的に取り組む施策のアクションプラン**として位置づけ

## 奈良県住生活ビジョン<改定>

- 高齢者居住安定確保計画 <改定>  
→高齢者に対する賃貸住宅の供給目標など
- 賃貸住宅供給促進計画 <策定>  
→住宅確保要配慮者への賃貸住宅の供給目標など
- マンション管理適正化計画 <策定>  
→マンションの管理の適正化に関する目標など

<問い合わせ先>

地域デザイン推進局 住まいまちづくり課 山本課長補佐(内線4373)



# Ⅲ 楽しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (30) 県内の交通サービスの確保と利便向上

## ここまで良くなってきました

「奈良県公共交通基本計画」に基づき、移動ニーズに応じた交通サービスの実現に取り組んできました。また、鉄道駅等のバリアフリー化や、市町村によるコミュニティバス・デマンド交通の導入等の取組を支援してきました。

○地域の関係者による議論を踏まえた公共交通サービスの見直し・改善や、「交通需要マネジメント」の考え方にに基づく交通アクセス強化や受入れ拠点整備を実施

○バリアフリー化の推進  
・利用者数3千人/日以上の駅の段差解消率が83.9%(R2年度)に上昇(H27年度:70.3%)



・ノンステップバス導入率が73.2%(R2年度)に上昇(H27年度:65.9%)

○市町村におけるコミュニティバス・デマンド交通に係る計画策定や実証運行等を支援



天理市コミュニティバスから近鉄嵯峨駅(川西町)まで延伸  
奈良県コンベンションセンターにおけるバスターナルの整備

## もっと良くするために

改定を予定している「奈良県公共交通基本計画」に基づき、地域がより主体的に県内公共交通の維持・充実に参画する取組を推進します。また、公共交通に関わる空間の質向上のため、鉄道駅のバリアフリー化等の一層の推進を図ります。

○県内公共交通の維持・充実に向けた取組(12百万円)

・「エリア公共交通検討会議」にて、地域の公共交通全体の維持・充実について協議

・(新)公共交通が観光・福祉など関係分野にもたらす効果(クロスセクター効果)の実証

・地域住民や観光等の移動ニーズにきめ細かく対応する交通サービスの提供に向けた取組を支援

○バリアフリー化の一層の推進(153百万円)

・利用者数3千人/日以上の駅、利用者数2千人/日以上でバリアフリー基本構想の生活関連施設<sup>※</sup>とされた駅の段差解消を支援

※ 高齢者、障害者等が日常・社会生活において利用する旅客施設等

・ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入を支援



鉄道駅におけるエレベーターの設置(近鉄前栽駅)  
ユニバーサルデザインタクシー車両

○鉄道駅等を住民の交流の場や観光案内所として活用する取組を支援(47百万円)

○(新)自動運転等の交通サービスの検討(15百万円)



宇陀市「大宇陀南部ボランティア有償バス」

令和4年度予算案 227百万円

## R4予算案 227,355千円

### 1. 県内公共交通の維持・充実に向けた取組 (12,400千円)

- ①「エリア公共交通検討会議」において、公共交通全体の維持・充実について協議し、運営の改善や利用促進を実施
- ②(新)公共交通サービスがまちづくりや医療、観光、福祉など関係分野にもたらす効果(クロスセクター効果)の実証
- ③移動ニーズにきめ細かく対応する交通サービスの提供に向けた取組を支援



宇陀市「大宇陀南部ボランティア有償バス」



鉄道駅におけるエレベーターの設置<近鉄前栽駅>



ユニバーサルデザインタクシー車両

### 2. 公共交通のバリアフリー化の一層の推進 (152,955千円)

- ①鉄道駅の段差解消を支援
  - ・対象:利用者数3千人/日以上の鉄道駅
  - ・(新)同 2千人/日以上3千人未満でバリアフリー基本構想の生活関連施設(高齢者、障害者等が日常・社会生活において利用する旅客施設等)に位置付けられた鉄道駅
  - ・補助上限:エレベーター [R3] 12,500千円/基 → [R4] 54,000千円(※)又は33,000千円/基
  - ・[拡充] スロープ [R3] 2,500千円/駅 → [R4] 33,000千円/駅
  - ※国の「鉄道駅総合改善事業費補助」を受けるエレベーター
- ②ノンステップバスやユニバーサルデザインタクシーの導入を支援

### 3. 公共交通に関わる空間の質向上 (47,000千円)

○鉄道駅の駅舎等を地域の拠点として活用できるよう、住民の交流の場や観光案内所等の整備に対し支援



駅舎を地域住民の交流の場や観光案内所として活用JR御所駅>

### 4. 自動運転の実現やMaaSの導入の推進 (15,000千円)

○(新)自動運転<sup>マース</sup>やMaaS(Mobility as a Service)(※)の導入を想定し、デジタル技術を活用した交通サービスの実証実験等に向けた検討  
※出発地から目的地まで複数の交通モードの経路検索・予約・決済を一体として提供するサービス



自動運転車両(イメージ)

<問い合わせ先>

県土マネジメント部 リニア推進・地域交通対策課/まちづくりプロジェクト推進課 津田課長補佐(内線4164)

# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 8 暮らしやすいまちづくり (31) 自治会等との連携協力強化

R4予算案 5,863千円

## ここまで良くなってきました

自治会の活動は、地域の安全・安心・防災・健康増進等にとって有意義で大事なものです。一方、住民の地域とのつながりの希薄化、担い手不足、高齢化等が自治会の課題となってきました。奈良県は、奈良県自治連合会との連携を強化してきました。

○R1年度に県に自治会連携担当職を置き、自治会や市町村との情報共有、県政情報の提供等を実施

○県自治連合会への加盟を働きかけ、R1年度に奈良市、R2年度に天理市、R3年度に宇陀市が加入し、20市町村が参加

○R2年度はコロナ禍の下、地域の防災訓練の支援(4市町村)、安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣(2回)を実施

○自治会の重要性や優良事例を共有する「奈良県自治会ジャーナル」創刊号を発行(R3年3月)



## もっと良くするために

自治会の地域における重要な役割に鑑み、県と自治会との連携協調の取組を充実していきます。自治会の活動に役立つ情報の集積・共有化を図ります。(3百万円)

○奈良県自治連合会が行う研修や情報共有等を支援すると共に、連携して各自治会の取組を促進

○(新)自治会と地域の多様な団体等の連携による地域の活性化など、新たな地域課題に対応するための自治会支援のあり方について、市町村や自治会等と共に検討する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」を実施

○「奈良県自治会ジャーナル」の発行等による、自治会の担い手に対する情報提供、好事例の横展開

○未加盟町村に奈良県自治連合会への加盟を働きかけ



地域の防犯・防災活動への支援や、奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣等を行います。(3百万円)

令和4年度予算案 6百万円

## ① 自治会連携の推進 (2,560千円)

### (1) 自治会・地域コミュニティ政策研究会の開催 (900千円)

- ・各地の自治会に積極的に足を運び対話を重ねることで、自治会活動の現状と課題を把握
- ・地域と連携した県施策推進のため、自治会等の活動・連携促進に関する「自治会・地域コミュニティ政策研究会」を開催

社会の変化により生じた新たな地域課題 (例)

災害の激甚化・頻発化、犯罪の巧妙化、高齢者の孤立・孤独死、子育て世帯の孤立化、デジタル化等への対応など

### (2) 「奈良県自治会ジャーナル」の発行 (1,660千円)

- ・自治会活動に役立つ情報の提供
- ・自治会の先進的取組事例の紹介、自治会長等の活躍紹介
- ・自治会等で活用できる県のサポート事業の紹介



地域課題の解消に向けた取組を進める自治会が増える

自治会活動の有効性を住民が再認識

自治会活動への参加促進  
担い手不足解消  
地域コミュニティの活性化  
(暮らしやすい地域づくり)

## ② 住民自治振興支援 (600千円)

- 県自治連合会が行う研修事業や、全国の自治会活動事例に関する情報収集活動等に対し支援



県自治連合会と知事との懇談会

## ③ 安全・安心まちづくりの推進 (2,703千円)

- 地域の防犯・防災活動の活性化のため地域の自主防犯・防災リーダー向けの研修を実施
- 住民参加型の自主防災訓練の支援
- 奈良県安全・安心まちづくりアドバイザーの派遣



自主防災訓練

<問い合わせ先>

- 知事公室
- ①政策推進課 藤本参事(内線2102)
  - ②市町村振興課 森口主幹(内線2265)
  - ③安全・安心まちづくり推進課 徳丸課長補佐(内線2128)



# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる

## (32) 子育て家庭への支援

### ここまで良くなりました

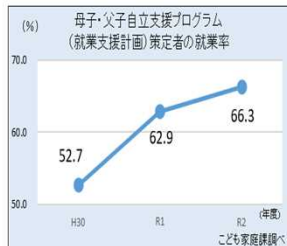
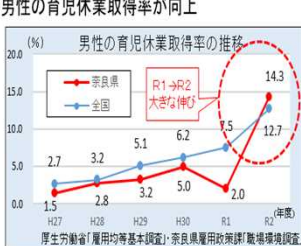
安心して子育てできる「家庭」と「地域」をつくり、夫婦が一体感を持って子育てできる環境整備が進んでいます。

ひとり親家庭等の暮らしの安定のため、就労による自立や子育て・生活を支援しています。

- 子育て世代包括支援センター設置市町村の増加 32市町村(R2年度)→全市町村設置(R3年度)
- 子ども家庭総合支援拠点設置市町村の増加 11市町村(R2年度)→23市町村(R3年12月)
- 男性の育児休業取得率が向上

○「奈良県第2次子どもの貧困対策及び第4次ひとり親家庭等自立促進計画」を策定予定(R4.3)

○県母子家庭等就業・自立支援センター(スマイルセンター)が支援しているひとり親の就業率が向上



### もっと良くなるために

ひとり親家庭を含むすべての子育て家庭が自立安定した生活の中で、安心して子どもをはぐむことができるよう、社会全体で子育て家庭を支援する取組を進めます。

妊娠期からの切れ目ない子育てを支援します。

多様な主体による子育て支援環境を整備します。

- 親子の交流を図る地域子育て支援拠点や、児童の預かり等を行うファミリーサポートセンターの運営等を支援(217百万円)
- 市町村子ども家庭総合支援拠点の設置及び機能強化に向けた支援(4百万円)

- (新)「なら子育て応援団」奈良っ子はぐみキャンペーン(300百万円)  
「なら子育て応援団」利用登録世帯に、県産品販売サイトで使える5,000円分の電子クーポンを配布



男女がともに支え合う家庭生活を実現します。

○ならクーポンと連携し赤ちゃん誕生お祝い「つながる箱」をプレゼント

- 父親の子育て参画促進「奈良県パパ産休プロジェクト」の推進(1百万円)
- 「なら結婚応援団」の情報発信(1百万円)

○体罰によらないゆったりした子育ての推進

ひとり親家庭等の就労や子育ての支援を充実させます。

- (新)奈良っ子はぐみセーフティネットシステムの検討(5百万円)  
ひとり親家庭等が必要な支援を確実に利用できるシステムの検討
- 資格取得による経済的自立を支援(35百万円)  
高等職業訓練促進給付金、住宅支援資金貸付

- (新)奈良っ子はぐみジャーナル発行(1百万円)  
地域の子ども支援活動や困りごとを抱える家庭への支援情報の発信
- (新)「ひとり親コンシェルジュ」の創設(1百万円)  
支援情報を届ける「アウトリーチ機能」の拡充、きめ細かな状況把握によるアフターフォロー等の実施

令和4年度予算案 565百万円

R4 予算案 565,461 千円

## 1. 妊娠期からの切れ目ない子育てを支援

### ① 地域の子ども・子育て支援 (217,893千円)

- 教育・保育施設等の利用相談や、児童の預かり等を行うファミリー・サポート・センターの運営等を行う市町村を支援

### ② 市町村子ども家庭総合支援拠点設置促進・機能強化 子育て世代包括支援センターへの支援(4,104千円)

- (新)母子保健と児童福祉の一体的相談支援体制整備費を補助
- 拠点設置及び機能強化に向けた個別助言支援等

## 2. 多様な主体による子育て支援環境を整備

### ③ (新)「なら子育て応援団」奈良っ子はぐみキャンペーン (300,000千円)

- 「なら子育て応援団」利用登録世帯に、県産品販売サイトで使える5,000円分の電子クーポンを配布

### ④ 「なら子育て応援団」による子育て応援 (257千円)

- お子様への割引サービス等、企業が地域の子育て家庭を応援する取組を支援
- ならクーポンと連携し赤ちゃん誕生お祝い「つながる箱」をプレゼント



### ⑤ 体罰によらないゆったりした子育ての推進(1,005千円)

- (新)市町村が実施する子育て支援研修に対し講師を派遣

<問い合わせ先>  
こども・女性局

- ①、②～⑦ 女性活躍推進課 曾田課長補佐(内線3351)
- ⑧～⑫ こども家庭課 中川課長補佐(内線2871)
- 医療政策局 ②健康推進課 信野課長補佐(内線3142)

## 3. 男女がともに支えあう家庭生活を実現

### ⑥ 父親の子育て参画促進「奈良県パパ産休プロジェクト」の推進 (258千円)

- 休暇取得促進のための啓発動画を活用した企業等への研修

### ⑦ 「なら結婚応援団」の情報発信

- 独身者向け婚活イベント等の情報をHPで発信

## 4. ひとり親家庭等の就労や子育ての支援を充実

### ⑧ (新) 奈良っ子はぐみセーフティネットシステムの検討 (5,100千円)

- ひとり親家庭等が必要な支援を確実に利用できるよう、支援情報と解決までの手続きを示すアプリシステムの構築を検討

### ⑨ (新) 奈良っ子はぐみジャーナルの発行 (1,200千円)

- 困りごとを抱える家庭等への支援情報など、子どもに関する施策や支援活動の情報を発信

### ⑩ 母子家庭等の自立支援 (23,553千円)

- 高等職業訓練促進給付金(看護師、保育士、介護福祉士等、又は6か月以上の訓練を要する民間資格)
- 自立支援教育訓練給付金(医療事務、行政書士等)
- 高等学校卒業程度認定試験合格支援

### ⑪ ひとり親家庭への住宅支援資金の貸付(12,000千円)

- 就労による自立に意欲的に取り組むひとり親に対し、住居の借り上げに必要な資金を貸付

### ⑫ (新) 「ひとり親コンシェルジュ」の創設 (91千円)

- 支援情報を届ける「アウトリーチ機能」を拡充し、きめ細かな状況把握によるアフターフォロー等を実施



# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (33) 就学前児童のはぐくみ

ここまで良くなってきました

「奈良っ子はぐくみ条例」の制定と、就学前教育に関する「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」の策定を検討してきました。

保育所等の待機児童数が、5年間で半減しました。



○「奈良っ子はぐくみ条例」  
「子どもの健やかなはぐくみ」経済的困難を抱える家庭への支援「困難な状況におかれている子どものセーフティネットづくり」、「子育て家庭のあらゆる困りごとの解決」に関する施策を推進

○「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」  
奈良っ子はぐくみプロジェクト(就学前教育を推進するためのツール作成、人材育成、多様な場ではぐくみの展開)を推進

もっと良くなるために

就学前児童をはじめとする子どものはぐくみを充実させるため、令和4年3月に「奈良っ子はぐくみ条例」を制定します。

令和4年3月に「(仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針」を策定し、就学前児童のはぐくみを推進します。

子どもを安心して預けられる受け皿を確保します。

○認定こども園や小規模保育事業等の地域の実情に応じた保育施設の整備(394百万円)

保育人材の確保・定着支援を進めます。

○保育士養成施設学生の修学資金や潜在保育士の就職準備等のための資金貸付(R3・2月補正 11百万円)

○キャリアパスに基づく体系的な研修(7百万円)

○「保育人材バンク」コーディネーターによる保育人材の就職支援(14百万円)

○保育現場働き方改革のモデル実施(1百万円)

保育人材の育成に力を入れます。

○施設類型を越えた一体的な研修や就学前教育アドバイザーの育成(17百万円)

○就学前教育プログラム啓発誌「はばたきの詩」の作成・配布(3百万円)

乳幼児期の豊かな体験につながる新たな取組を進めます。

○(新)自然保育認証制度の創設(2百万円)

○インクルーシブ保育の推進(4百万円)

○(新)大学と連携した食育の推進(4百万円)

多様な場ではぐくみを展開します。

○まほろば健康パークの機能強化(63百万円) [債務負担行為10百万円]

○なら歴史芸術文化村幼児向けアート・音楽プログラムの展開(10百万円)

○(新)「幼児向け運動・スポーツプログラム」を活用したはぐくみの推進(5百万円)

令和4年度予算案 524百万円 [債務負担行為10百万円]  
令和3年度2月補正予算案 11百万円

R4予算案 524,426千円 [債務負担行為 9,500千円]、R3・2月補正予算案 10,500千円

■ 令和4年3月に「奈良っ子はぐくみ条例」を制定(予定)

## 1. (仮称)奈良っ子はぐくみ基本方針に基づく「奈良っ子はぐくみプロジェクト」の展開

① 就学前教育の質の向上・保育人材の育成 (20,005千円)

○奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の実践事例集作成



遊びを通した学びの実践事例のようす

②(新) 自然保育認証制度の創設 (2,500千円)

○奈良県自然保育認証制度の検討  
○自然保育の推進に向けた支援  
自然保育推進補助金  
人材育成、広報啓発等



自然の中での保育のようす

⑤まほろば健康パークの機能強化 (62,644千円、R5債務負担行為9,500千円)

⑥なら歴史芸術文化村での幼児向けアート・音楽プログラムの展開 (10,010千円)



なら歴史芸術文化村 (R4.3.21開村)

アートプログラムのようす

⑪ ○「はばたくなら」をわかりやすく解説した普及啓発誌「はばたきの詩」の作成・配布

○施設類型を越えた一体的な研修の実施

○就学前教育アドバイザーの育成

③インクルーシブ保育の推進 (3,730千円)

○医療的ケア児を受け入れる保育施設への看護師等の配置を支援

④(新) 大学の専門性を活かした食育の推進 (4,000千円)

○農業体験等により、保育関係施設及び家庭等と連携した食育を推進

⑦(新)「幼児向け運動・スポーツプログラム」を活用したはぐくみの推進 (5,750千円)

○総合型地域スポーツクラブでプログラムを活用した教室を展開  
○保育者等を対象とする普及啓発活動

## 2. 保育の受け皿確保、保育人材の確保・定着支援

⑧ 保育施設整備への支援 (394,188千円)

○認定こども園や小規模保育事業等の地域の実情に応じた保育施設の整備

⑨ 保育士の県内就職の促進 (R3・2月補正予算案10,500千円)

○保育士養成施設の学生の就学資金や、潜在保育士の就職準備資金を貸し付け(貸付原資積立のための補助)

⑩ キャリアパス構築支援・保育人材の確保・定着 (21,599千円)

○キャリアパスに基づく体系的な研修実施  
○保育人材の求人・求職のマッチング  
○保育現場の働き方改革の推進

<問い合わせ先>

文化・教育・くらし創造部 ⑥なら歴史芸術文化村整備推進室 落合室長補佐(内線2524)、⑦スポーツ振興課 湯浅課長補佐(内線5272)  
こども・女性局 ②③④⑧⑨⑩⑪ 奈良っ子はぐくみ課 石川課長補佐(内線2885)  
⑤ 地域デザイン推進局 公園緑地課 西城主幹(内線4327) ① 教育委員会 教育研究所 中澤部長(0744-33-8902)

# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (34) 地域での子どもの多様なはぐくみ

## ここまで良くなってきました

県内全ての小学校区での「こども食堂」設置を目指す中、設置数が着実に増加しています。

・R3年12月には、87団体がこども食堂を設置  
(県内191小学校区中、66校区で設置)



空き教室等を利用し、保護者が昼間家庭にいない子どもたち(放課後児童)に遊びや生活をする場を提供する放課後児童クラブを拡充してきました。

- ・施設整備補助により施設数が増加  
H27.5⇒R3.5: 382クラブ(+85クラブ)
- ・受入児童数が増加  
H27.5⇒R3.5: 16,094人(+3,654人)
- ・放課後児童支援員数が増加  
H27.5⇒R3.5: 2,028人(+805人)



## もっと良くするために

地域の多様な人が参画する安心・安全なこども食堂を普及します。

放課後児童クラブの施設・運営の充実のための取組を進めます。

○(新)「こども食堂」奈良っ子はぐくみキャンペーン事業(10百万円)  
県産農産物等を使用する調理や、遊びを通じた子どものはぐくみ活動を支援

○放課後児童クラブ施設整備の支援(122百万円)  
・施設整備 新設:15箇所、改修等:9箇所  
・学校の余裕教室等の活用促進

○(新)こども食堂認証制度の創設(2百万円)  
安心・安全なこども食堂の開設・運営を支援

○指導員確保の支援(14百万円)  
保育人材バンクで保育士と指導員を対象に求人求職のマッチング

○こども食堂等による子どもへのやさしさあふれる地域づくりの推進(1百万円)

- ・地域の多様な主体による子ども支援活動の普及
- ・こども食堂の交流会への支援
- ・お試しこども食堂に補助



○指導員資質向上(専門性向上)の支援(1百万円)  
・資質向上のための専門研修  
・要支援児対応のための従事者向け作業療法士等による研修



○県こども食堂コーディネーター、フードバンク活動団体による支援の強化(6百万円)

- ・未利用食品の活用を促進
- ・(新)生産者からこども食堂への未利用農産物等の提供

令和4年度予算案 156百万円

R4予算案 155,701千円

## 1. 地域の多様な人が参画し、親子が安心して過ごせる「こども食堂」の普及

### ①(新)「こども食堂」奈良っ子はぐくみキャンペーンの実施 (12,200千円) (新) こども食堂認証制度の創設

- 県産農産物等を使用する調理や、遊びを通じた子どものはぐくみ活動を支援
- 安心・安全なこども食堂の開設・運営を支援

### ②こども食堂等による子どもへのやさしさあふれる地域づくりの推進 (950千円)

- 地域の多様な主体による子ども支援活動の普及、こども食堂の交流会への支援、お試しこども食堂に補助

## 2. 放課後児童クラブの施設・運営の充実

### ⑦放課後児童クラブの施設整備支援 (122,544千円)

- 新設・改築 15箇所、改修等 9箇所
- 学校の空き教室等の活用促進

### ⑧保育人材バンクの運営 (14,000千円)

- 保育人材の求人・求職のマッチング
- 子育ての仕事就職フェア

### ⑨指導員資質向上の支援 (307千円)

- 資質向上のための専門研修
- 要支援児対応のための作業療法士等による研修

### ③県こども食堂コーディネーター、フードバンク活動団体による支援の強化 (5,700千円)

- 県こども食堂同士のつながりを強化  
奈良こども食堂ネットワークに県がサポーターとして参画し、県こども食堂同士のつながりを強化
- 県こども食堂コーディネーターによる支援  
・民間協力企業の掘り起こし、こども食堂とのマッチング  
・こども食堂開設・運営に係る相談支援

### ○未利用食品の活用促進

- ④県こども食堂コーディネーターによる未利用食品の安定供給支援
- ⑤こども食堂等を応援するフードバンク活動を行うNPO法人等に対し、食品の集積・配送にかかる経費を支援

### ⑥(新)生産者からこども食堂への未利用農産物等の提供



<問い合わせ先>

こども・女性局

①～④こども家庭課 中川課長補佐(内線2871)

⑦～⑨奈良っ子はぐくみ課 石川課長補佐(内線2885)

食と農の振興部

⑤、⑥豊かな食と農の振興課 福永課長補佐(内線3818)



# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる

## (35) 児童虐待防止と社会的養護

### ここまで良くなりました

児童虐待の早期発見・未然防止につながる子どもの預かり事業等を行う市町村が増加しています。

県・市町村の体制・対応力強化が進んでいます。

・ショートステイ、一時預かり事業の実施市町村数  
H27: 26市町村⇒R2: 33市町村(+7市町村)  
・オレンジリボンキャンペーンの実施市町村数  
H27: 31市町村⇒R2: 39市町村(全市町村)

・子ども家庭総合支援拠点設置市町村  
R2: 11市町村⇒R3.11: 22市町村(+11市町村)  
・県児童相談所の児童虐待相談対応件数  
R1: 1,832件⇒R2: 1,761件(▲3.9%)  
・市町村の児童虐待相談対応件数  
R1: 3,246件⇒R2: 3,130件(▲3.6%)

里親等家庭的養育推進に関する取組が進んでいます。



・里親登録者数  
H27: 131組⇒R2: 146組(+15組)  
・里親等委託率  
H27: 16.8%⇒R2: 18.8%(+2.0ポイント)

### もっと良くするために

相談支援の充実による保護者の育児不安の軽減や地域の見守り強化により、児童虐待の未然防止に取り組んでいます。

県・市町村の体制・対応力を強化し、関係機関等の連携による子どもと家庭への支援を進めています。

○(新)児童相談所のSNS相談体制の整備(16百万円)  
○児童虐待対応力向上研修、オレンジリボンキャンペーン等による未然防止啓発(1百万円)

○(新)ヤングケアラーへの支援(1百万円)  
支援者を対象とした研修会の開催及びヤングケアラーサロンの立ち上げ等のマニュアル作成  
○市町村の児童虐待対応力向上のための助言・指導(1百万円)  
○市町村子ども家庭総合支援拠点の設置促進及び機能強化に向けた支援(1百万円)

家庭的養育の推進や施設退所者の自立支援等、社会的養護の充実に取り組んでいます。

○(新)施設退所者等の実態調査・自立支援のあり方を研究(2百万円)  
施設等退所者の実態を把握、支援ニーズを分析・整理し、自立支援の充実を検討  
○施設等退所前児童の就業体験や生活設計の支援、退所者の居場所づくり(5百万円)  
○里親制度の広報啓発、里親登録前研修の実施(8百万円)

○予期しない妊娠への相談対応力向上(1百万円)  
○(新)次期「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」の策定(3百万円)

令和4年度予算案 39百万円



R4予算案 39,279千円

## 1. 虐待の未然防止

### ①(新) 児童相談所のSNS相談体制の整備 (15,870千円)

○相談員を配置し、国と連動したSNSによる相談を受付できる体制を整備

### ② 児童虐待未然防止のための啓発・研修 (1,347千円)

○オレンジリボンキャンペーンや、児童虐待対応力向上研修等を実施

### ③ 妊娠期・子育て世代の包括支援 (368千円)

○妊産婦や子育て家庭を支援する職員養成と支援プログラムの普及

### ④(新) 次期「配偶者等からの暴力防止及び被害者支援基本計画」の策定 (3,600千円)

## 2. 虐待発生後の対応強化

### ⑤ 施設等退所前児童の就業体験や生活設計支援、退所者の居場所づくり (7,683千円)

○(新) 施設等退所者の実態調査・自立支援のあり方を研究  
施設等退所者の生活実態を把握、支援ニーズを分析・整理し、自立支援の充実を検討

○退所前後の相談支援  
○気軽に集まる場の提供、情報交換・情報発信など自助グループの活動を支援

### ⑥ 里親制度の広報啓発、里親登録前研修等の実施 (8,010千円)

○里親月間(10月)に合わせた啓発活動を実施  
○養育力向上のための研修を実施  
○里親への訪問支援等



## 3. 県・市町村の体制強化

### ⑦(新) ヤングケアラーへの支援 (1,000千円)

○ヤングケアラー支援者連携研修  
○ヤングケアラーサロンの立ち上げ及び運営手法マニュアルの作成

### ⑧ 市町村児童虐待対応力体制強化 (818千円)

○市町村の要保護児童対策地域協議会に有識者等を派遣し、困難事例等へ助言・指導

### ⑨ 市町村子ども家庭総合支援拠点の設置促進・機能強化 (583千円)

○拠点の設置及び機能強化に向けた個別の助言・研修会を開催

### <問い合わせ先>

- ①～⑧ 子ども・女性局 子ども家庭課 中川課長補佐(内線2871)
- ⑨ 子ども・女性局 女性活躍推進課 曾田課長補佐(内線3351)



# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 9 地域で子どもを健やかに育てる (36) 子どもの通学通園路の安全確保

## ここまで良くなってきました

子どもの通学通園路の安全確保のため、施策を引き続き実施してきました。

より安全な通学通園経路の変更の必要性の検討も引き続き行ってきました。

H24年 京都府亀岡市での事故を受け、緊急合同点検を実施

○経路上の危険箇所を可視化することで、より安全な通学通園路の検討を推進するため、県内全ての学校(園)等の通学通園路マップをデジタル化

H25年～全市町村での「通学路交通安全プログラム」に基づき、関係者で定期的に合同点検を実施し、県全体で情報共有し改善を図る

R1年 滋賀県大津市での事故を受け、未就学児童の集団移動経路を含めた合同点検を実施

「奈良県通学路等安全対策推進会議」を開催しました。(R3年10月、R4年1月)

R3年 千葉県八街市での事故を受け、県内通学通園路の総点検を実施

○県と市町村が通学通園路の安全対策について情報共有し、県から第三者としての対策案を提示

○合同点検の結果を踏まえ、交通安全施設の整備や交通安全教育を実施

○関係者が集まり、登下校時における防犯対策について意見交換・調整を行う「地域の連携の場」の構築を各市町村で推進



奈良県通学路等安全対策推進会議

## もっと良くするために

通学通園路の安全確保について、**市町村長を中心とする組織体制の構築**を推進し、市町村と連携して取り組みます。

○通学通園路の安全確保推進(1百万円)

- ・通学路等安全対策推進会議の開催
- ・各市町村の通学路合同点検への同行、対策メニューの提案

○(新)通学通園路等安全確保支援(3百万円)

- ・市町村等が行う通学通園路等安全確保のための防犯・交通安全設備等整備の支援



通学路合同点検への同行

通学通園路の安全対策として、**安全教育の充実**に取組みます。

○学校安全教育の推進

- ・教職員を対象とした安全教育研修の開催
- ・効果的な交通安全教育の実施



学校安全教育

通学通園路の安全確保のため**継続して交通安全施設の整備**に取り組みます。

○通学通園路の安全対策(599百万円) [債務負担行為142百万円]

- ・合同点検結果を踏まえた防護柵の設置、横断歩道の補修・高輝度化等、交通安全施設の整備・更新の推進



防護柵の設置、歩行者用灯器の増設、横断歩道の補修など

令和4年度予算案 603百万円

[債務負担行為142百万円]

R4予算案 603,485千円 [債務負担行為 141,750千円]

## 目的

- 交通安全、防犯、防災の総合的な観点における、通学路等の安全確保の推進
- 市町村長を中心とする組織体制による通学路等の安全確保
- 交通安全施設の整備による通学通園路における交通事故防止

### ①子どもの通学通園路の安全確保推進 (1,135千円)

- 通学路等安全対策推進会議の開催
- 通学路合同点検の巡回指導
- 通学路等の安全教育の充実



奈良県通学路等安全対策推進会議の開催



通学路合同点検の巡回指導

### ②交通安全施設の整備

(599,350千円 R5債務負担行為 141,750千円)

- 関係者連携による合同点検に基づく、危険箇所への交通安全施設の整備(防護柵の設置、歩行者用灯器の増設、横断歩道の補修等)



防護柵の設置



歩行者用灯器の増設

### ③新通学通園路等安全確保支援(3,000千円)

- 通学通園路等の安全確保に必要な防犯・交通安全設備等整備の支援



防犯カメラの設置

<問合せ先>

- ① 教育委員会 保健体育課 村井課長補佐(内線5312)
- ② 県土マネジメント部 道路保全課 辻井主幹(内線4152) 警察本部 交通企画課 皿田課長補佐(内線5518)
- ③ 知事公室 安全・安心まちづくり推進課 徳丸課長補佐(内線2128)

# Ⅲ 愉しむ「都」をつくる 10 女性活躍の推進 (37) 女性の幸せ応援プロジェクト

## ここまで良くなってきました

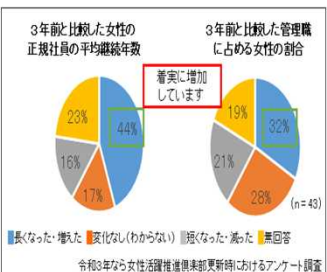
県内の企業・団体等に対して、個別に訪問等をするにより登録を働きかけた結果、「なら女性活躍推進倶楽部」登録企業数が着実に増加しています。

【なら女性活躍推進倶楽部】男性も女性も働きがいを感じ、生き生きと働けることができる職場づくりを目指し、関係団体とともに様々な取組を実施している県の取組。



女性の就業継続、管理職に占める女性割合が増加しています。

○「なら女性活躍推進倶楽部」会員企業において、3年前と比べて、女性の平均勤続年数、管理職に占める女性割合が増加している企業が増えています。



## もっと良くするために

奈良の女性が元気に生きて、活躍することに幸せを感じていただくと、奈良がさらに元気になります。奈良の女性の幸せを応援するプロジェクトを進めます。また、「大和平野中央スーパーシティ構想」の中で、女性のスキルアップと就労支援の更なる強化に向けた検討を進めます。

県内企業とともに女性活躍を推進します。(4百万円)

- なら女性活躍推進倶楽部会員企業の魅力発信
  - ・ジャーナルの発行、WEB・様々な広報媒体を活用
- 会員企業と女性・若者のマッチング支援
  - ・(新)採用情報および企業情報を紹介するポータルサイトの充実
  - ・再就職フェスタの開催
  - ・企業と連携し、大学でのキャリア形成講座を開催

○企業間交流による女性活躍の水平展開

女性の起業・就労を支援します。(1百万円)

- 女性起業支援者ネットワーク「Leapなら」により、支援団体と連携した起業を目指す女性の活躍支援(起業家向けセミナー、相談支援)

女性への様々な就労支援をします。(28百万円)

- 「女性の再就職準備相談窓口」での再就職準備段階からの支援
- 働く女性への支援
  - ・「働く女性相談窓口」(女性センター)で、働く女性の様々な悩みに対応
  - ・キャリアアップ等に関するセミナーの開催
- (新)奈良で働きたい人と県内企業とをマッチングするポータルサイトの運営

男性の働き方・暮らし方改革を推進します。(1百万円)

- 「パパ産休プロジェクト」の推進
  - 産後早期から、父親が母親に寄り添い、一体感を持ち子育てできるように、「パパ産休」の取得を企業とともに推進



令和4年度予算案 34百万円

R4 予算案 33,512千円

## 1. 県内企業とともに進める女性活躍の推進

### なら女性活躍推進倶楽部における取組 (4,197千円)

- ① 倶楽部会員企業の魅力発信
  - ・ジャーナルの発行
  - ・Web・各広報媒体を活用し発信
- ② 会員企業と女性・若者のマッチング支援
  - ・(新)採用情報および企業情報を紹介するポータルサイトの充実
  - ・再就職フェスタの開催(オンライン・対面)
  - ・大学のキャリア形成講座での企業との交流

### ③ 企業間交流による女性活躍の水平展開

- ・異業種交流会
- ・女性社員向けキャリアアップセミナー
- ・管理職向け先進事例セミナー



県内企業で活躍する女性

## 2. 女性への様々な就労支援

### 再就職の準備段階からの支援「女性の再就職準備相談窓口」(8,659千円)

- ④ 再就職の準備段階の女性をハローワークや就職につなぐため、相談、交流会、セミナー等によりトータルコーディネート

### 働く女性への支援 (20,110千円)

- ⑤ 「働く女性相談窓口」(女性センター)で、働く女性の様々な悩みに対応
- ⑥ キャリアアップ等に関するセミナー



セミナーの様子

- ⑦ (新)奈良で働きたい人と県内企業とをマッチングするポータルサイトの構築・運営

## 3. 女性の起業・就労支援

### 起業による女性の活躍応援 (288千円)

- ⑧ 女性起業家・支援団体が交流でき、起業家の課題解決につながるイベントの開催
- ⑨ 女性起業支援者ネットワーク「Leapなら」による情報収集と発信



## 4. 男性の働き方・暮らし方改革の推進

### 父親の子育て参画促進 (奈良県パパ産休プロジェクト) (258千円)

- ⑩ 産後早期から、父親が母親に寄り添い、夫婦で一体感を持ち子育てできるように、「パパ産休」の取得を企業とともに推進



<問い合わせ先>

- ①～⑥、⑧～⑩ こども・女性局 女性活躍推進課 曾田課長補佐(内線3351)
- ⑦ 産業・観光・雇用振興部 外国人・人材活用推進室 吉田室長補佐(内線3572)